

# 第 52 回琉球放送旗争奪沖縄県

## 中学校新人バレーボール大会ガイドライン

### (無観客試合に伴うガイドラインの訂正)

沖縄県バレーボール協会 中学部

参加者の健康と安全を最優先にするために、以下のガイドラインに基づき大会を行う。大会期間は、各会場においては感染拡大防止に努め、全ての参加者に健康チェックシートの提出を求める。

#### 1 3密を回避するために

- (1) 大会会場(体育館内)への入館は、登録選手 12 名、監督、コーチ、マネージャー、大会関係者(引率教諭・管理職・審判を含む)のみとし、~~観戦のための生徒・保護者の入館は 5 名(引率責任者は含めない。)までとする。~~無観客試合とする。ただし、敷地内への入場は、入館できるメンバー以外の生徒・保護者合わせて 5 名までとし、その中の 1 名は当該チームの試合の撮影を目的とした入館を認める。
- (2) 開館後に行っていた 2 試合目以降のチーム練習は行わない。
- (3) 開閉会式は行わない。表彰式はコートにて行う。
- (4) ベンチは背中合わせにしないようにする。
- (5) ベンチの椅子は間隔をあけて 5 脚まで設置できる。コートチェンジの際にはチームでもって移動する。
- (6) 2 試合目以降は I F 用紙が本部に提出されてから 20 分後にプロトコールを行う。試合間を十分に確保し器具や備品の消毒を行う。また、他チームとの接触を無くす。
- (7) 試合開始、終了後の選手同士、顧問同士、審判等への握手は行わない。
- (8) 選手の待機場所は、換気の良い屋外に各チーム毎に密にならないように設置する。
- (9) 他チームとの交流や接触は極力避ける。
- (10) 入場は、消毒などの作業が終わり、IF 用紙が本部に提出されたあと審判が合図を出す。審判の合図は各チームとも 1 人で聞くようにして、他の選手は密にならないようにして待機場所で待つ。退場は、1 チームずつ退場できるように審判で合図を出す。※入退場の際の密や接触を回避する。

#### 2 消毒について

- (1) 会場出入り口に消毒用アルコール 1 本設置し入退場の際には手指消毒を行う。
- (2) ボールやジャッジフラッグなど不特定多数で使用する器具等は 1 試合ごとに消毒を行う。
- (3) ボールやボールかごなど会場に持ち込む用具等は、入館前に各チームで消毒を行う。
- (4) 試合終了後は利用したチームでベンチの消毒を行う。※各チームでアルコール消毒用のスプレーやペーパータオルなどを準備する。
- (5) コートチェンジや試合終了後、チームの観戦撮影者は、観戦撮影場所の消毒を行う。

#### 3 クライシスマネジメントとして

- (1) 各チームで感染対策責任者を任命する。※監督・コーチが兼任してもよい。

- (2) 各チームの感染対策責任者は、登録選手全員とマネージャー並びに、観戦のためそれ以外の生徒・保護者（5名まで）の健康チェックシート（保護者は健康申告書）を毎日提出させ、2週間の保管を行う。（万が一、感染者がでた場合には提出を求められることがある。）
- (3) 各チームの監督・コーチ・引率責任者・帯同審判・大会役員は、毎日、大会本部に健康申告書を監督会までに提出する。※感染対策責任者がチームごとにまとめて提出する。
- (4) 会場への入場は、原則として健康チェックシート・健康申告書を提出した者（管理職や審判も含む）のみとする。ただし、入館の際の検温で発熱がある場合は、入館できない。（帰宅してもらう）
- (5) 会場ではマスクを着用する。但し、準備運動、競技中のマスク着用は無理に強要しない。  
※ベンチ・生徒役員はマスク着用。

#### 4 観戦入場について

- (1) 屋内・屋外に関わらず、マスク着用に協力していただく。マスク着用が協力できない者は会場（敷地内）への入場は遠慮していただく。
- (2) ~~観戦の敷地内に入る登録以外の~~生徒・保護者（5名まで）の入館は、~~当該チームの試合のみ入館できる。入館の際はチーム名がハッキリわかるものを身に付けること。その中の1名は、当該チームの試合のみ撮影を目的として入館できる。生徒・保護者の入れかえは試合毎とする。セット間等の入れかえはできない。（1日目・2日目・3日目の日付ごとの入れかえはできる）~~
- (3) 撮影したものをホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードしないこと。（保護者・選手への周知を徹底する。）
- (4) ~~コロナ感染の状況によっては、無観客試合になることもあります。また、会場によっては人数制限の数が違ってくることもあります。~~